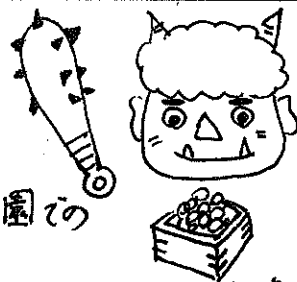


矢何あけぱの保育園だより 2月号 2024年

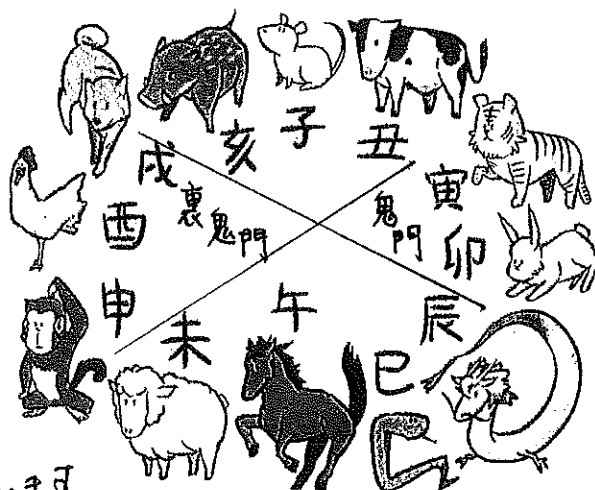
暦では、節分を過ぎ春になりましたが、そのとたん大雪が降り まだまだ寒い冬が続くようです。近隣の小学校からは、インフルエンザやコロナで学級閉鎖になっていることも聞かえてきます。感染症対策しつつも、楽しい嬉しい幸せと感ずること、笑うというのも免疫力を上げるといわれていますので、毎日の保育園での生活がそのように感じてくれるよう日々の保育をつかっていきたいと思ひます。



保育園は2月2日に「節分」が行われました。日にちとしては1日早い豆まきでした。昔から、季節の節目『節』には、悪いものが入ってくるとされてきました。特に立春の前の節は、昔の人にとっては、重要な日でした。子どもたちには、鬼は悪いものを運んでくるからきちとおいはらっていかうとお話しています。当日は、鬼が嫌いなヒイラギやワツの匂いをつけて、豆も大量に用意した子どもたちですが、鬼の来襲には、ひとたまりもなかったようです。中には、勇気を振り絞って豆を投げた子もいました。子どもたちにとっては、一番保育園に来たくない日だと思います。そんな日ですので園で1日すごしただけでも、すごい事だと思います。ついつい、この時期、大人はいつときかはない子どもに対して「鬼がくるよ」と脅しをいからせてすが、邪気を祓った先は、健康な体、良いことが待っているとエールを送っていただきたいと思ひます。

鬼と桃太郎の物語の関係

豆まきは、中国の明時代からの風習だといわれています。丑寅の方角(鬼門)から邪気が入るとされてきました。ですので鬼の容貌は丑の角と寅のパンツという姿に表わされたようです。その方位の反対にあるのが、申酉戌になります。邪気を抑えるのには、反対の方位の動物の力が必要とされてきました。この3匹の動物は、有名な桃太郎のお供になり鬼退治をしています。

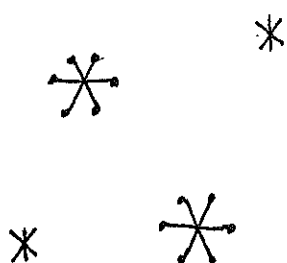


そして、桃は「邪気を祓うもの、不老長寿をあたえる実」とされてきました。万能の果物で「あざ死」も寄せ付けられないので、最強の食べ物だったのでしょう。物語では、まさに主人公というべき存在です。昔話の中に、様々ないわれが入っているのも面白いですね。

ある日のリズム活動の中で



最近、ちゅうりぶ組さんは、幼児クラスへ進級にあたり少づつ交流保育をしています。ちか見さんがリズムを打つので、ちゅうりぶさんホールへきて参加。全員でやると人数が多いので、まずはうさぎグループとちゅうりぶさんで、いつもより、きりん、ぞうが先なのですが、この日は、うさぎが最初です。「ちゅうりぶさん、うさぎを見てがんばるからよろしくね。」と声をかけると「ハイ」と頼もしい返事です。いつもは小さいうさぎとされているのですが、この日は、お兄さんお姉さんになってはりきっていました。ちゅうりぶの子どもたちも、うさぎの勢いにのせられて、生き生きとやっていました。お互いの存在が色々な刺激になって、少しずつ大きくなることへの期待がふくらんでいっています。今のクラスでの生活も残り少なくなっていますが、色々な交流を通して大きく成長していくのでしょね。



はまい

とくます ひびとくん

2さいの
おたんじょうびおめでとう!

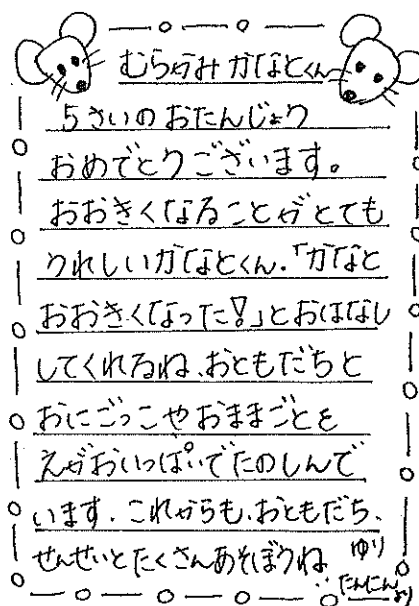
2がつからたんぽぽぐみにきて
くいてありがとう

でんしゃをつなげてはしらせたり、
おりよりもおきにいりでたのし
そうにあそんでいますね

これからもうっとげんきて
おともだちとたくさんあそんで
たのしくすごしまようね

たんぽぽぐみ たんにんより

★「てらに」りゆりせいくん ★
1歳のお誕生日おめでとう★
10月につくし組に入った
(ばかり)の頃は まだまだ
“あいさす赤ちゃん”という
様子だった りゆりせい君ですが
今は ミルクも離乳食も
たくさん食べて、元気にいっしょ！
お母さんたちが大好きで、一緒
にあそぼうよ～お”と 近くに
行くと 二つ二つしています！
みんがもいっしょにあそぼうね。



3月26日(火) とうぐ遠征(雨天決行)